

侵入されない適切な防除

防護柵設置のポイント

電気柵

☆電気ショックで撃退

- ・イノシシは3段、シカは5段が基本
- ・1段目は地面から20cmの高さで張る。
- ・地形の凸凹に合わせて隙間を作らないように張る。

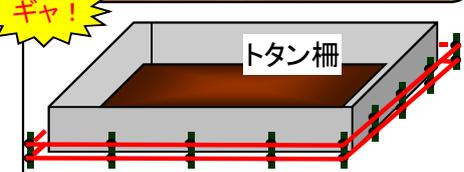
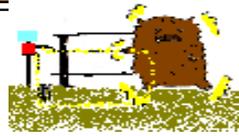
☆効果の決め手はアース

- ・アース棒は、湿ったに地面に深く埋める。

☆舗装道路からは50cm離して張る。

☆漏電防止のため、草刈等を適時行う。

☆碍子は外側で、支柱と柵線は接触しない。



電気柵にトタン柵を組合せると、「目隠し効果」により防除効果が高まる。
トタンを張る際、地際や角に隙間を作らないことが重要。

金網柵、ワイヤーメッシュ柵等

☆イノシシ1.2m以上、シカ1.8m以上の高さに設置。

☆網目は10cm以下。

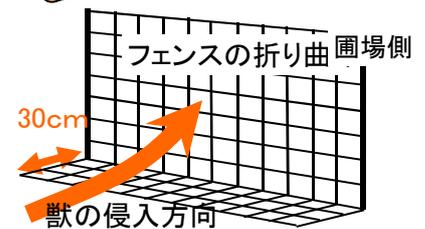
☆つなぎ目、地際が要注意【もぐり込み防止】。

- ・破壊や掘り返されないう、しっかり固定。
- ・掘り返し防止に、地際を竹で補強。
- ・地形の凸凹に合わせて隙間を作らないように張る。

☆ワイヤーメッシュの横筋は圃場側。

【忍び返し】上部の30cmを10cm(20~30°)曲げる。

☆金網フェンスは地際30cmを折り曲げて設置。



ネット柵

☆シカの被害防止に効果あり。柵の高さは1.8m以上。

☆網目は10cm以下。

☆隙間がないように張り、杭で固定。

☆ネットをフェンスの外側に垂らすと効果有。(スカート)

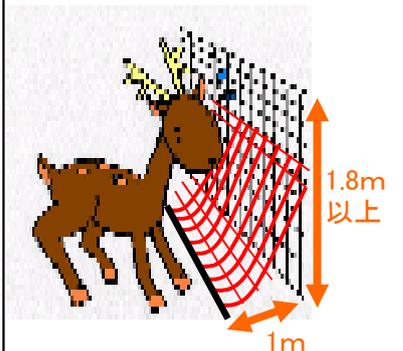
☆丈夫な材質のネットを張る。

☆柵周辺の草刈を行なうことが重要。

- ・クズなどのツル性植物がネットに絡むと、柵が倒れる。

☆野ウサギには高さ1.2m、網目2~3cmのネットを設置。

- ・既に金網柵等を設置している場合は、重ねて設置する。
- ・苗木などに対象が限られる場合は、対象をネットで囲む。
- ・噛み切られる場合は、ワイヤー入りネットを使用する。



フェンスとネットの組合せ(スカート)

☆維持管理を想定して、適切な防護柵の設置を行う。

10年後も維持管理ができるよう、柵の種類や設置ラインを検討する。

☆メンテナンスフリーの防護柵は無い。

☆突破されても諦めず、補修、補強を行う。

破られた柵を補修、補強すれば防除効果は復活する。